

# 東日本大震災と私

H23.7.26

作成者 T.A2

[1, 地震当日 2011.3.11 の私の経験 \(My experience in 2011.3.11\)](#)

[2, 地震後3ヶ月間の私の動き \(My movement of three month after a temblor\)](#)

[3, 今私にできること \(I should be able to do\)](#)

## 1, 地震当日 2011.3.11 の私の経験

2011年、3月11日におこった[東日本大震災](#)。

あの日は学校にいて先生が来るのを待っていたときにいきなり大きな揺れが私たちを襲った。教室の電灯はもちろんすぐに消えてしまい、私は恐怖をおぼえた。教室内の生徒たちは机の下に身を隠した。(日頃の避難訓練が役に立ったのはこれが初めてではないかと思った。)長い揺れが続く中、私が考えていたのはこの長く強い揺れで家族は大丈夫なのか、家は大丈夫なのかということだった。

すぐに先生が教室にやってきて、学校にいた生徒、先生は全員体育館に避難した。そこで人数確認をして歩いて帰れる距離の人はそのまま帰り、迎えを待たなくてはいけない人は会議室で待つことになった。学校まで車で通っていた私は父が迎えに来るのを待たなければならなかった。早く無事なことを確認したいのに、家の電話にはつながらないだろうし、携帯電話ももっていなかったので連絡を取る手段がなかったのだ。

父が到着しそのまま家へ帰ることに。大きな揺れのせいで街中の電気が消えてしまっていた。コンビニなどの電気はもちろん、信号や街灯も消えていて警察の人たちが道路に立ち交通整理をしていた。(このときに改めて警察がすごいと感じた。こんなに早く対処ができるものなのかと感心してしまった。)

家に着くとももちろん灯りはまったく点いていない。家に入り、家族が全員無事であることが確認できた。ほっとしたのも束の間、電気のない夜をどう過ごすかの作戦会議が始まった。前々からこういうことが起きる予感のしていた父はいたって冷静で、まずはどのくらい家に電気の点くものがあるかを確認した。携帯電話や携帯ゲーム機、懐中電灯にアロマ、ろうそく。1階には大きな鏡を持ってきてそれに懐中電灯の灯りを当てて反射させる。そうすることで灯りがリビング全体に広がった。どこに何があるかを把握するためにまだ日があるうちに自分たちの部屋を片づけ、使えるものを見つけ父母の部屋へ集合。ここでまた作戦会議開始。(母、祖母は夕飯を1階で作る。幸い、ガスは止まっていなかったのもその日の夕飯に困ることはなかった。米は鍋で炊くことになる。)

コンセントのコードを切り、導線を出す。それと豆電球を接続させて電池とつなげる。理科の実験でよくある電気を作り出す装置が完成した。電池ケースとして小さい箱などをみつけ大きすぎるものは粘土や厚紙を使って補った。それをいくつも作り一晩を過ごした。

## 1, My experience in 2011.3.11

That day, I was in school. Suddenly, a big temblor attacked us. I felt frightening. We hid under some desks. Then I thought about my family's and my house's safety.

I was waiting for my father in a room. A lot of students were there.

My father came to school at 4:30 PM.

The powers of town were gone off: electric light, traffic lights and houses lights. Of course, when I got to my home, my house power was went off. But my family was safety. Soon we had a strategy meeting to how to make out the light. We decided to make light using cell ourselves. And we spent safely the night

## 2, 地震後3ヶ月間の私の動き

地震が起きてからの3ヶ月間を振り返ると、はじめの1ヶ月は余震が来ないか心配しながら寝てとにかく自分のことで精一杯でした。しかし、食料の買い占めなど、ニュースになっているようなことははじめからしていませんでした。食料が本当に必要なのは自分たちではなくて被災地の人たちだと思っていたので。2ヶ月後くらいからは自分たちの生活に余裕が出てきて周りのことを考えられるようになりました。東北で一番被害の少なかった秋田県にどうにかして被災者の人たちを連れてきてあげられないかとか、いろいろ一人で悶々と考えたこともありました。

節電に関しては、早く寝ることで夜の電気を節約するなどを心がけました。不便だと感じることもありましたがそれも被災者の人よりはましな生活をしているのだと思うと気にすることもなくなりました。

## 2, My movement of three month after the earthquake

When a month spent, I was frightened by the strong aftershocks. It came several times. I didn't have over excess foods and goods. Such action would be immoral.

When about two month spent, I have a few inner reserves.

I was struggling to save electricity. I felt it was inconvenience, but I will have patience for many victims.

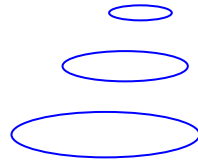
### 3, 今私にできること

節電しなくてはいけないとよく言われているので節電には一応取り組んでいます。節電することによって被災地の人がいったいどんな面で助かっているのか私にはわかりませんが。とにかく節電、節水、募金・・・呼びかけられていることは一通りやっています。

このほかに私ができることといえば早く復興してくれることを祈ることくらいです。

### 3, I should be able to do

Many people said, "We must save electricity and water!" So I am saving electricity and water now. If I must something else, I only pray the revival early.



**頑張ろう、ニッポン！**

被災地が早く元気になりますように・・・。